

日本放射線科専門医会・医会
CT/MRI 灌流画像の標準化に関するワーキンググループ第四回会議
議事録

平成 17 年 2 月 10 日 名古屋国際会議場

出席者：井田正博、宇都宮英綱、工藤與亮、佐々木真理、百島祐貴、山田恵、渡部嘉之
(アイウエオ順、敬称略)

1) 実践的ガイドライン草稿作成について

CT グループの進捗状況の報告を佐々木が代理で行った。構造化抄録作成が終了したこと、草稿作成が進行中であることが報告された。本年 4 月終了をめどに作業を進めて頂くことになった。

井田先生、山田先生、渡部先生より MRI グループの進捗状況の報告があった。膨大な論文の撮影条件、解析方法に関する調査結果や草稿の一部が報告された。引き続き作業を進めて頂き、本年 4 月終了をめどに草案作成を進めて頂くことになった。

草案の書式について話し合わせ、CT, MRI とも、検査、解析、評価の 3 章に分け、さらに推奨、本文、脚注にわけて記載することとした。推奨、本文はできるだけ簡潔にし、詳細は脚注に記載することとした。

2) 各社解析画像の検証作業について

工藤先生より進捗状況の報告があった。MR 灌流画像に関して、山田先生、百島先生、井田先生から提供頂いたデータの読み込み、解析が可能になったことが報告された。山田先生、百島先生にはさらにデータの提供をお願いすることとなった。また各メーカーの DICOM データの順番や画素値の変換係数を各先生方に再度確認していただくことになった。後日、工藤先生のほうで取りまとめて頂いたデータを、各先生方に各社の解析ソフトで処理して頂くこととした。その際の AIF の取扱いについて議論が行われた。

3) ウェブページについて

百島先生より、Xe-CT に関するコンテンツの準備が進んでおり、近日中に公開できるとの報告があった。また、用語一覧についても公開に向けて準備を進めて頂くこととした。

4) その他

佐々木より WG の成果発表予定について説明があった。また、今年度の活動業績をまとめることとなった。来年度の日本磁気共鳴医学会の助成が決定したことが報告され、本 WG の先生方に引き続き参画して頂けることになった。また、今後は医療経済面への影響についても考慮しながら活動していくこととした。

次回の会議は第 64 回日本医学放射線学会総会の会期中(4/8-10 横浜)を予定することとした。

(文責 佐々木)